工業部会通信

（発行）
相模原商工会議所工業部会

（編集）
かながわ経済新聞社
代表：千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL：042（851）2021
FAX：042（851）3532

随時発行です。工業部会の定期活動をご紹介します。印刷しご自由にお読み下さい。

ＸＰの更新を支援

４月にサポート終了迫る

使用継続はリスク多く

米マイクロソフトの基本ソフト（ＯＳ）「ウィンドウズＸＰ」のサポートが終了する４月９日まで３カ月を切った。このまま使い続ければウイルス感染の危険性が高まるとされており、対応が求められている。こうしたなか、ＩＴ（情報技術）企業でつくる「さがみはら情報通信サービス協同組合」などは、更新支援サービスを始めた。小規模な企業でも更新できるよう、価格帯も大手企業が実施する同様のサービスと比べ、半額以下に設定したという。

対応呼び掛ける青木専務理事

さがみはらＩＴ協同組合

新サービスは、「さがみはらＩＴ協同組合」と連携して実施。相模原商工会議所も協力する。

更新を依頼した企業から近い、組合企業を紹介。サポートしていく。

更新費用は、パソコンの台数によって異なる。パソコン１～５台、５０ギガバイト以上のデータ以上の場合、１台あたり２万円（別途に出張調査費５０００円かかる）。

また、単なる移行作業だけでなく、新システムのオペレーション、ユーザー教育（費用は別途必要）にも対応する。

さがみはらＩＴ協同組合の青木英高専務理事は「更新に乗り遅れてしまうと、高いリスクだけでなく、いまだにＸＰを使っている危険な企業との評判の悪化を招く恐れもある」と説明。早急にＸＰの環境を一掃する必要があるという。

万が一、ＸＰを使い続けた場合、ウイルス感染などにより、顧客リストや在庫データの漏えいといった危険性が高くなるという。

問い合わせは、さがみはら情報通信サービス協同組合０４２（７５９）５５３５。または、さがみはらＩＴ協同組合０４２（８６２）２５５５まで。

なお、一部報道によると、ウィンドウズＸＰを巡っては、法人が使うパソコンのうち、昨年末時点で全体の約２割が使われているとされている。

個人用も含めると、国内では今なお１３００万台が使われているとされている。

ビンズン団地の現状

ベトナムセミを開催

ＧＥＴプロ

新成長ビジネスＧＥＴプロジェクトはこのほど、ベトナムをテーマにした海外展開支援セミナーを開催した。

「ビンズン省の工業団地と新都市開発」と題し、専門家が現地事情について解説。会場となった市立産業会館（相模原市中央区中央）には、同商工会議所の会員など、多数が参加していた。

ベカメックスＩＤＣコーポレーション総代表の酒井正剛氏（＝写真、進出事例について解説）、東急電鉄・都市開発部・須山真慈氏（都市開発プロジェクトを解説）が講師となり、それぞれのテーマについて解説した。

酒井氏によると、ビンズン省はハノイ、ホーチミンに続いき、新たに世界から注目されている地域。同省は、今やベトナム国内で「最も経済環境の整った省」とも評されるという。

「ベトナムシンガポール工業団地」や「ミーフック工業団地」といった大規模工業団地が立地するほか、新たな都市開発プロジェクトも進んでいる。

セミナーでは、ビンズン工業団地への日本企業の進出事例とベトナム最大級となる新都市開発プロジェクトなども解説した。

参加者たちは、新たなビジネスチャンスにつなげようと、熱心に聞き入っていた。

テクニカルショウ

出展数過去最多 工業部会企業も

県内最大の工業技術総合見本市「テクニカルショウヨコハマ２０１４」が２月５～７日までの３日間、パシフィコ横浜で開かれた＝写真。

今回は過去最多となる５５６社・団体が出展。向洋技研やリガルジョイントなど、工業部会の所属企業も多数出展していた。

また、今回は例年とは異なり、県外から参加する企業が目立ち、全体の出展者数の約４割を占めた。地域を主体に営業してきた中小企業が、その枠を越え、連携先を広く模索しようという動きもみられた。

再生医療テーマ 公開講演会開く

近未来技術研

近未来技術研究会は２月７日、創立40周年記念事業の一環として、市立産業会館（同市中央区中央）で公開講演会「最先端、ここまできた再生医療の近未来」を開催。地元企業から多数が参加した＝詳細は次号で掲載。

医療の革新に挑む「再生医療」の最前線の動向などについて、専門家が分かりやすく解説した。

最近の動物実験では、毛髪再生が成功しており、歯や臓器の再生につながるとして注目されているという。

講演では、同分野で活躍する、東京理科大学総合研究機構の辻孝教授が講師を務めた。

11月工業生産 前月比プラス

県が発表した２０１３年11月の工業生産指数（季節調整指数、２００５年を１００とする）は、前月比４・８％プラスの97・９となり、３カ月ぶりに上昇した。

業種別の生産指数をみると、最も高い伸びを示したのは、「情報通信機械工業」（同28・９％増）だった。

白物家電にノジマ参入

ＰＢで洗濯機など

家電量販ノジマ（本店・相模原市中央区横山）は、プライベートブランド（ＰＢ）「エルソニック」から白物家電を投入したと発表した。

冷蔵庫と洗濯機の計３モデル。４月の消費税の税率引き上げに合わせ、家電製品の駆け込み需要を狙うという。

また、店頭には国内メーカーの白物家電の品揃えが少なくなっていることも理由という。

ノジマがＰＢで白物家電を展開するのは初めてとしている。すでに全店舗に置いており、インターネット販売も始めた。

冷蔵庫は、容量45リットル（オンライン価格は１万２８００円）と88リットルタイプ（同２万１８００円）を用意。どちらもノンフロンを採用した。全自動洗濯機（同２万４８００円）は、４・５キログラムの容量に対応した。

（記事提供・かながわ経済新聞社）